



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:67 平成19年11月15日

## …つぶやきサロン…

### 30代男性の出番！

日頃から様々な市民活動に参加して思うことがある。それは、男性、特に30代の男性の方の市民活動への参加が少ないことだ。

地域に関心や興味がないのかもしれない。また、「働き盛りで仕事が大切な年代である」と考えると仕方ないのかもしれない。多忙な人には、ボランティアとして力をお借りしたくても中々お願いまではできないのも事実だ。

しかし、一方で、頑張って市民活動に取り組んでいる若い年代の男性もいる。例えば、私も関わらせて頂いている『子育てネットワーク in 福岡』では、年に一度、沢山の家族が参加する大会が開かれているが、ここでは多くの30代男性が参加されている。ここに参加されている男性は、子育てや地域のことを積極的に考えて生活していると思う。

また、私は市民センターにもよく行っているが、やはりここでも来館者の年代はかなり偏っている。子どもであれば、小学生が多く、中学生・高校生はごくわずか。大人は、定年前後から年配の方がほとんどで、その他は小学生の親世代の方が送迎に来られるくらいである。

市民活動に参加してみると、意外なところに新しい発見や興味を引くことも沢山あるのだ。参加しないともったいないと思う。

将来のことを考えて、もっと市民活動に興味を持ち、参加してみてもどうだろうか？ 特に活気のある30代男性の方、自分の住んでいる地域に目を向けて、一緒に市民活動をしてみませんか。

ボランティアグループ 渚  
サポートコーディネーター 室山 隆行



# 第72回・サポートセンターの日/2007・10・26

「意識すると、未来は変わる」と題して環境保護に取り組む2団体に活動発表をしていただきました。



特定非営利活動法人  
空き缶基金  
代表 河野捷紀さん

私はこの活動を行う以前から、八幡や戸畑でまちを明るくしていこうと考え、JRガード下の壁や公衆トイレの落書きの清掃活動を行っていました。もちろん空き缶なども回収していましたが、回収の際、缶の種類を棒磁石を使って分別していたところ、一人の小学生からこう言われました。「スチール缶は集めてもお金にならないんでしょう?」

このことから一般的にスチール缶はリサイクルの対象として認知されていないのだと感じました。市民の多くはスチール缶を資源リサイクルに出す機会が少ないために、市のゴミ袋や店舗等のゴミ箱に出しているのが現状だったのです。

そこで子ども達に『空き缶資源リサイクル』の模範を示すため、缶の種類を選ばない取組を導入しました。その結果、私達の取組に賛同していただいた多くの企業や地域の方々から空き缶を提供していただきました。

スチール缶をリサイクルする工場の協力で、1kgにつき4円をリサイクル収益金の基金として積み立ててもらえることになりました。任意団体として平成19年6月までの3年間に230トン回収し、積立金は約70万円になりました。回収の取組が評価され文部科学大臣奨励賞をもらった小学校もあります。

その後、基金の提供先選定における不公平感をなくすために、平成19年7月3日にNPO法人となり、全ての情報を公開することにしています。

基金は主に小学生の環境教育や授業に役立つ情報・教材等を提供し、リサイクル意識を高めることを目的にしています。具体的には小学生を対象にした出前講演によるリサイクル授業や、リサイクル工場への見学ツアー、環境教育用備品の提供等をさせてもらいました。また、月に1回の空き缶通信を発行し、空き缶提供団体や関係者に無料配布しています。広報・普及のため、イベント(わっしょい百万まつり、西港エコフェスタ、エコテクノ、エコライフステージ等)にも積極的に参加してPR活動に努めています。

今後は、もっと地域の方に活動への参加を呼びかけ、普及・拡大に繋げて行きたいと考えています。



北九州  
インタープリテーション  
研究交流会  
代表 原賀 いずみさん

私達の会の名前にある「インタープリテーション」という言葉は、直訳すると「通訳」という意味ですが、アメリカの国立公園を初め、環境学習の場では「自然や歴史を知識で教えるのではなく、感性で伝えること」という意味で使われています。

活動の目標は「いのちのつながりを見直そう」です。実際に“見て、さわって、感じる”ことで北九州の身近な自然の不思議さを伝える環境教育プログラムを企画実践しています。

インタープリテーションを志したきっかけは到津の森公園の存続活動です。1998年に到津遊園の閉園が発表されましたが、私は小さい頃から親しみを持っており、市民の憩いの場所が無くなる事がとても残念でした。

そこで、一念発起し「到津遊園を到津動物の森公園として存続させる会」を発足させ、署名活動を初め、新聞への投稿や「森と動物たちの大切さをアートで伝える作品展」などを開催しました。

インタープリテーションの本と出会ったのは、新動物園の提言書を書くために模索していた頃です。読んでみると、既に昭和12年から「森と動物」をテーマに感性を育む教育として開催された到津遊園の林間学園は、「インタープリテーション」そのものでした。私は改めてこの存続運動が間違っていなかったと認識しました。

幸いに到津の森公園として再スタートでき、私は環境教育グループのボランティアの一員となって、林間学園のウォークラリーのプログラムを作ったり、わくわくチルドレンズミュージアムスクールの企画・実践を行いました。

その他にも、自然通訳者として様々なイベントや講座、布絵シアター・ワークショップなどを行いました。特に、地元北九州の曾根干潟や紫川、平尾台の自然について考えるワークショップには力を入れました。

これまでの活動を振り返ってみて、「環境教育とは、関係教育である」と感じています。壊れた関係性を見直し、再生し伝えるためにインタープリテーションの必要性は今後ますます重要になると思います。

これからは大人と子どもがともに「自然の扉」を開く場づくりのお手伝いをしていきたいと思っています。子どもたちの心に蒔いた「自然ってすごい!」という素直な感動の種が、持続可能な未来にむけての行動力となって育てゆくことを願っています。





## 情報のひろば

イベント・ボランティア

### 子育てひろば研修セミナー

～北九州の子育てひろばをつくろう！

ていねいに&つながりあって～

- 日時：12月7日（金）10：00～16：30
- 会場：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
- 定員：100名（要事前申込）
- 参加費：無料（資料代として500円・当日清算）
- 託児：500円／1人（定員20名 要事前申込）
- 対象：子育て支援に関わる実践者、子育て支援に関心のある人他。
- 主催：財団法人こども未来財団
- 申し込み・問い合わせ先：  
NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンター（Bee）

TEL：070-5532-5082

FAX：093-884-9819

E-mail：haru2020@jcom.home.ne.jp

### 第10回北九州市手話フェスティバル

「手話フェスティバル」は、今年で10周年を迎えます。今年は、女優の真野響子氏をお招きし、講演していただきます。アトラクション・抽選会もお楽しみに!!

- 日時：12月2日（日）13：00～16：00  
（開場：12：00）
- 会場：北九州市立八幡市民会館大ホール
- 内容：記念講演、アトラクション（手話歌・手話劇）
- 入場料：大人2,000円（当日2,500円）  
小人1,500円（当日1,800円）
- 主催・問い合わせ先：  
第10回北九州市手話フェスティバル実行委員会・  
特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会  
TEL/FAX：093-881-0114

### 「認知症・草の根ネットワーク」賛同者募集!

「認知症でも安心して暮らせる街づくり」を実現したいと、「認知症第一回北九州大会」（平成20年4月12日（土））を企画しています。

「大会」当日だけでなく、日常的な協働のしくみづくりが必要です。認知症に対する理解を広げる「認知症・草の根ネットワーク」にご参加、ご支援くださる方を募集しています。

（呼びかけ人代表）

- 高田 芳信（老いを支える北九州家族の会）
- 野村 美代子（グループホーム協議会）
- 関 宣明（NPO法人里山を考える会）
- 浅尾 美子（楽々サービス）
- 中村 真理子（小倉南リーダーズ塾）
- 田代 久美枝（おとなりさんネットワーク「えん」）

○連絡先：

TEL：090-7159-1133（田代）

### 「日本熊森協会 福岡支部」結成記念

#### 森山まり子会長 特別講演会

～クマが棲める豊かな森を次世代へ～



- 日時：12月9日（日）  
13：30～18：00（受付13：00より）  
第一部/講演「クマともりとひと」  
第二部/お話とQ&A 懇談会
- 会場：北九州市男女共同参画センター“ムーブ”  
大セミナールーム
- 会費：前売券 一般1,000円 学生 500円  
当日券 一般1,300円 学生 800円  
小中学生 無料
- 主催：日本熊森協会 福岡支部
- 申し込み・問い合わせ先：  
TEL：090-9796-1582（南里）  
FAX：093-641-2357  
E-mail：jbfafukuoka@yahoo.co.jp

### ★「社会福祉助成事業」

社会福祉関係者の資質向上に関する研修や調査研究事業のテーマ・内容に先駆的要素、パイロット性があるものなどに対して、助成を行っています。

- ★助成金額：1事業の80%以内で30万以内又は50万以内（内容で変わります。）
- ★締め切り：平成19年12月15日（土）（消印有効）
- ★財団法人 日本社会福祉弘済会 助成事業係  
〒130-0022  
東京都墨田区江東橋3-24-3  
TEL 03-3846-2172  
FAX 03-3846-2185  
<http://www.nisshasai.jp/>



### 助成金

### ★野村国際文化財団

国際社会における真の相互理解の実現のために、音楽・美術分野における人材育成活動及び国際交流活動に対しての助成を行っています。

- ★助成対象となる活動を行う団体及び個人  
（外国人の場合は日本国内における受入れ責任者（団体）が代って申請）
- ★締め切り：平成19年12月25日（火）必着
- ★財団法人野村国際文化財団  
〒103-0027  
東京都中央区日本橋1-9-1  
TEL：03-3271-2330  
FAX：03-3281-8522  
<http://www.nomuraholdings.com/jp/bunkazaidan/>

# NPO法人の申請・認証状況

## 北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年10月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	227	220	—



## 全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年9月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	31,213	30,033	311
【福岡県】	1,099	1,057	1
内閣府	2,821	2,597	114
全国計	34,034	32,630	425

### 「基礎からわかるNPO講座」参加者の声

講師：内田満氏(NPO法人スポーツウエイヴ代表)

日程：6月～10月(全10回)



#### 環境学習サポーター 角谷 忠彦さん

予てから私たちが活動しているボランティアグループのNPO法人化の検討を始めていた時期に当講座を知ったのがきっかけで受講することとした。

受講者は何れも法人化を目指す5つのグループで、私たちのグループは、受講前に法人化関連の資料でその概要は、概ね理解しているつもりであったが、受講後は理念(目標)、組織、運営など特に留意すべき事項が明確になり、これからの準備作業がスムーズに進むことが期待される。

また、他の参加グループも各々自分達の目的に向かって、作業を取り進めて行くことと思われる。

今回の講座は終了したが、参加した各グループ共、作業を進める段階で必要により内田講師、市民活動サポートセンターのスタッフと相談することが多々あると思われるのでその節は宜しくお願ひしたい。

#### 木村智久さん

私の関わっている団体は任意団体で、法人化すべきかどうかの判断は事業継続の為に避けては通れないものでした。

その時、当講座が開催されるとの知人からの情報。6月～10月にかけて仕事が終わった後の計10回のスケジュール。

正直、『出席できるんかいな』と不安が一杯でした。参加してみると、机上の知識だけでなく、内田講師の実体験に基づいた内容。他の受講者の活動状況も聞くことができ、『これは聞かねば』と残業そっちのけで受講し、大変参考になりました。

これからこの講座で得た知見を持ち帰り、NPO法人化すべきかどうかの検討をします。団体にとって一番よい形が何であるか、みんなでじっくり考えたいと思います。その結果、NPO法人化するべし、となれば市民活動サポートセンターにまたお世話になるかも知れません。その時はまたよろしくお願ひします。



### 北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4  
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: [support3@axel.ocn.ne.jp](mailto:support3@axel.ocn.ne.jp)

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00  
日曜・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーションで仕切った無料の会議室。  
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◇利用時間◇ 月曜日～土曜日《10:00～21:00》

日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】 11月29日(木)・12月28日(金)

#### 編集後記

孫が生まれてマゴマゴ。泣く事と寝る事と乳を飲む事の3つしかない生活パターンなのに、周りは勝手に振り回される。全てがこちらの思うようには運んでくれない。

親の介護をしている人や病人を抱えている家族、子育て中の親など皆このジレンマを抱えつつ日々を駆け抜けているのだろう。

自分のスケジュールだけで動くのはなんと身軽なことか。もっと色々なことができていい。

来年はどんな事に挑戦しようかと今からわくわくしている。鬼が笑っているかも…。

By yonmin